

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会
(第25期・第4回)

議事要旨

出席委員18名(敬称略):小山田 耕二、大倉 典子、萩原 一郎、梅津 理恵、山嵜 達也、跡見 順子、跡見 友章、岩木 直、岩城 光宏、川原 靖弘、菊池 吉晃、清水 美穂、下村 武史、高野 渉、内藤 健、則内まどか、福田 収一、本間 美和子、渡辺 敏行

欠席委員7名(敬称略):上野 佳奈子、川内 敬子、小池 康晴、竹森 重、冨田 哲也、野崎 大地

1. 日時 令和4年6月17日(金)14:00~17:00
2. 会場 日本学術会議講堂及びオンライン
3. 議題
 - (1) 前回議事要旨の承認について
 - ・承認された
 - (2) 令和3年度末(令和4年3月31日)で委員長より承認されている塩満委員の退任について、小委員会として確認した。
 - (3) 可視化シンポジウム8(9/26)、可視化シンポジウム9(9/27)開催計画について跡見委員長より、概要について説明があった。
大倉委員より、マンガに関してはICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会の田中覚先生とコンタクトをとるのもよいのではないかという意見があった。
 - ・開催は承認された
 - (4) 見解などの作成計画について
シンポジウム等の成果を元に、「細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる」可視化に関連する見解などを計画していく。
 - (5) 話題提供:「公益資本主義による所得倍増実現~失われた30年を奪還する」副題「科学技術・教育立国のための財政税制政策」原丈人氏(アライアンス・フォーラム財団会長)
 - ・日本は幸い、日本語で科学ができる状況であり、細かいコミュニケーションも可能(跡見委員長)
 - ・理科離れは、小学校の「理科」という科目名を「科学」というようなより制限のない名前にすると、改善するのではないか(小山田委員)

等の意見が出た。